

完熟やまもも収穫体験ツアー 甘酸っぱい味覚を満喫

日本一のやまもも生産を誇る櫛淵町の果樹園で6月27日、「完熟やまもも収穫体験ツアー」が開催され、市内外から訪れた約40名の家族連れらが甘酸っぱい味覚を満喫しました。

果樹園にはおよそ200本の木に旬のやまももが鈴なりに実をつけ、参加者は腕を伸ばして真っ赤に熟した果実を摘み取り、その場で美味しそうにほお張ったり、持ち帰り用のパックいっぱい詰めに楽しんでいました。

この収穫体験ツアーは、本場の新鮮な味をより多くの人に知ってもらうため、東とくしま農業協同組合のやまもも部会が毎年企画しているものです。



やまももの収穫を楽しむ参加者

和田島町出身の畠山準さん 野球人生を語る



はたやまひとし
講演される畠山準さん

和田島町出身の畠山準さん（和田島小卒一坂野中卒）が7月5日、ふれあいセンター立江で開催された「平成27年度徳島県スポーツ推進委員研修会」に講師として招かれました。

畠山さんは「私と野球」をテーマに、夏の甲子園で優勝した池田高校時代の思い出や、17年間にわたるプロ野球生活について振り返り、また現在は球団職員として、野球振興やファンの拡大に取り組んでいることなどをお話されました。

講演の結びには「野球を通じて今まで出会った人たちが自分の財産となっている。スポーツの推進を担う皆さんにも、スポーツを通じて出会うたくさんの人たちを大切にしてほしい。」と呼びかけ、県内市町村のスポーツ推進委員ら約150名が耳を傾けていました。

小松島市と市内郵便局 災害時の協力協定を結ぶ

市役所で7月7日、「災害発生時における小松島市と小松島市内郵便局の協力に関する協定」の調印式が執り行われました。

調印式には、市内郵便局（小松島横須・和田島・中田・坂野・赤石・立江・金長だぬき・小松島）の各郵便局長が8名出席され、濱田市長と、市内郵便局を代表して小松島横須郵便局の須原正文局長が協定書を交わしました。

この協定は、地震、津波などの大規模災害が発生した場合、市と郵便局が、住民の避難先情報を本人の同意のうえで相互に提供することや、郵便局が、配達などの業務中に発見した、道路の被害状況などを市に提供することなどを協力するものです。

平常時から行政と郵便局ネットワークの協力体制が構築されることで、万が一の被災時でも、円滑な郵便物の配達や速やかな復旧につながることを期待されます。



協定を締結した濱田市長と市内各郵便局長